

令和3年度

# 環境活動レポート

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

発行日:令和4年6月2日



「より良く」「より早く」「より安全に」「より環境に」気を配る

## 株式会社 藤島建設

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松2344-1

TEL:0238-42-3166 FAX:0238-42-5220



環境省  
エコアクション21  
認証番号0010920

# 目次

1. 環境経営方針	P2
2. 組織の概要	P3
3. エコアクション21実施体制	P4
4. 環境経営目標	P5
5. 環境目標値と実績値	P6
6. 環境経営計画の取組結果の評価 並びに次年度の取組内容	P10
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認	P11
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P12
9. 環境活動取組み状況	P13

## 環境方針

### <基本理念>

株式会社藤島建設は、「持続可能な社会を構築するため」に、全組織・全従業員にて、積極的かつ具体的に「環境負荷の軽減」への取組を行います。

### <行動指針>

1. 省エネルギー（電力・燃料使用量の削減）に取組み、二酸化炭素排出量削減に努めます。
2. 廃棄物の削減・リサイクルに取組み、適正な処理に努めます。
3. 節水(水道の使用量・排水量の削減)に取組み、水資源の保全に努めます。
4. 事業活動で必要になった物品の調達時には、グリーン製品購入に努めます。
5. 工事の設計・施工を行う上で、環境に配慮した施工方法を検討・実施に努めます。
6. 積極的に地域貢献活動を行い、社会環境改善に努めます。
7. 環境関連法規制等は、確実に遵守します。

平成 26 年 10 月 4 日

株式会社 藤島建設

藤島英一 印

環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

## 2 . 組 織 の 概 要

### 1 事業者名及び代表者名

株式会社 藤島建設  
代表取締役社長 藤島 英一

### 2 事業の概要

山形県知事許可 (特・般-29)第500155号  
建設業の種類 土木一式工事・建築一式工事・大工工事・とび土工工事  
石工事・管工事・鋼構造物工事・舗装工事  
水道工事・造園工事・さく井工事及び解体工事

### 3 所在地及び連絡先

住 所 : 〒999-0121  
山形県東置賜郡川西町大字上小松2344-1  
連絡先 : TEL 0238-42-3166 FAX 0238-42-5220  
Email : ea21@fujishima.com  
担当者 : 環境管理責任者 伊藤 朱貴子

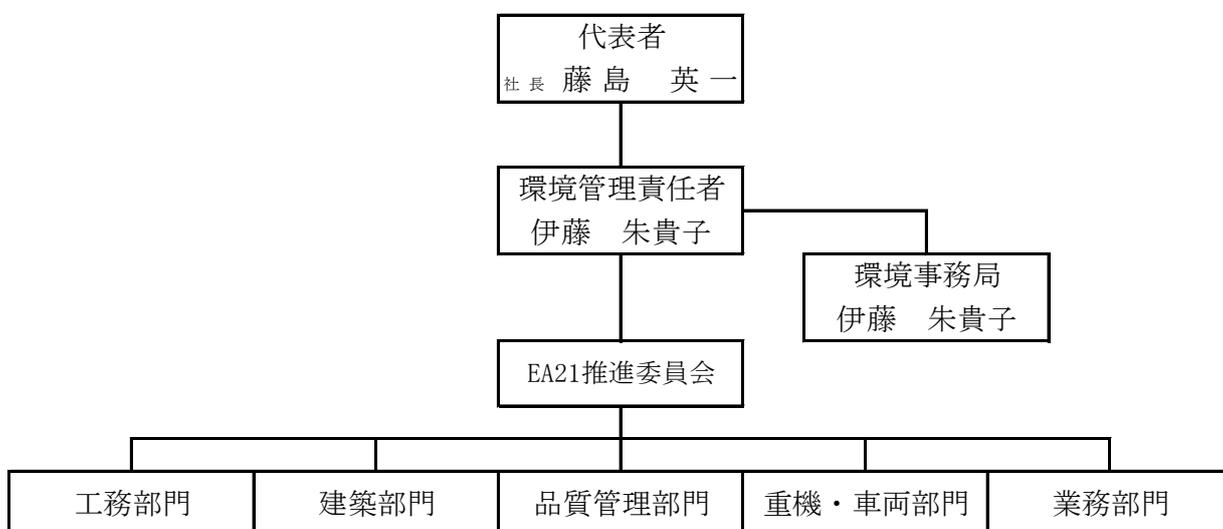
### 4 事業の規模

創 業 : 昭和42年1月 会社設立 昭和44年9月  
資本金 : 2,000万円  
売上高と従業員数 :

事業年度	令和3年度 (R3.4~R4.3)	令和2年度 (R2.4~R3.3)	令和元年度 (H31.4~R2.3)
完成工事高(千円)	334,871	606,539	390,413
従業員数(人)	14	15	15
注) 完成工事高は、当社会計年度【当年4月～翌年3月まで】による。			

### 3. エコアクション21実施体制

当社のエコアクション21の実施体制は下記のとおりとする。



役 割 ・ 責 任 ・ 権 限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>経営における課題とチャンスを整理し、明確にする</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>実施体制を構築する</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施し、必要な指示を行う</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環 境 事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部 門 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全 従 業 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 4. 対象範囲と対象取組期間

### 1. 認証・登録範囲

本社並びに建設工事現場全体

### 2. 環境活動レポートの対象取組期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

一年ごとにまとめ、毎年6月に発行する予定です。

## 5. 環境経営目標

### 1. 環境経営目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、並びに環境方針との接合性を図り、次の5項目について環境目標を設定しました。

- ★ 二酸化炭素排出量の削減
- ★ 産業廃棄物再資源化率の向上
- ★ 総排水量の削減
- ★ 建設工事の工期短縮の取組
- ★ 河川アダプトの継続



### 2. 主な環境負荷の実績

平成27年度(H27.4～H28.3)当社における主な環境負荷の実績は下記に示す通りです。

部門	二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )					廃棄物再資源化率(%)		総排水量 (m <sup>3</sup> ) (水使用量)
	電力	灯油	LPG	ガソリン	軽油	一般 廃棄物	産業 廃棄物	
事務所	5,781	5,981	244	4,545	0	—	—	135.40
現場	3,512	1,954	309	7,677	110,652	—	94.08	0

(注) 電力の二酸化炭素排出係数は平成24年度東北電力(0.60)を使用しました。

## 3. 環境経営目標の設定

項目	年度 部門別	基準年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		平成27年度実績値	目標値	目標値	目標値
		基準年度比△1.0%	基準年度比△1.5%	基準年度比△2.0%	
二酸化炭素排出量	合計	140,655 co2	139,248 co2	138,545 co2	137,842 co2
	建設現場	124,104 co2	122,863 co2	122,243 co2	121,622 co2
	事務部門	16,551 co2	16,385 co2	16,302 co2	16,220 co2
電力使用量	合計	15,489 kwh	15,333 kwh	15,256 kwh	15,178 kwh
	建設現場	5,854 kwh	5,795 kwh	5,766 kwh	5,736 kwh
	事務部門	9,635 kwh	9,538 kwh	9,490 kwh	9,442 kwh
ガソリン使用量	合計	5,264 ℓ	5,210 ℓ	5,184 ℓ	5,157 ℓ
	建設現場	3,307 ℓ	3,273 ℓ	3,257 ℓ	3,240 ℓ
	事務部門	1,957 ℓ	1,937 ℓ	1,927 ℓ	1,917 ℓ
灯油使用量	合計	3,184 ℓ	3,152 ℓ	3,136 ℓ	3,120 ℓ
	建設現場	784 ℓ	776 ℓ	772 ℓ	768 ℓ
	事務部門	2,400 ℓ	2,376 ℓ	2,364 ℓ	2,352 ℓ
LPG使用量	合計	88.8 m <sup>3</sup>	87.9 m <sup>3</sup>	87.4 m <sup>3</sup>	87.0 m <sup>3</sup>
	建設現場	49.8 m <sup>3</sup>	49.3 m <sup>3</sup>	49.0 m <sup>3</sup>	48.8 m <sup>3</sup>
	事務部門	39 m <sup>3</sup>	38.6 m <sup>3</sup>	38.4 m <sup>3</sup>	38.2 m <sup>3</sup>
軽油使用量	合計	42,785 ℓ	42,357 ℓ	42,143 ℓ	41,929 ℓ
	建設現場	42,785 ℓ	42,357 ℓ	42,143 ℓ	41,929 ℓ
	事務部門	—	—	—	—
産業廃棄物排出量	建設現場	203 t	200.9 t	再資源化率の向上	再資源化率の向上
一般廃棄物排出量	事務部門	938 kg	928 kg	再資源化率の向上	再資源化率の向上
総排水量 (水使用量)	合計	135.4 m <sup>3</sup>	—	—	—
	建設現場	0 m <sup>3</sup>	—	—	—
	事務部門	135.4 m <sup>3</sup>	134.0 m <sup>3</sup>	133.4 m <sup>3</sup>	132.7 m <sup>3</sup>
グリーン購入	建設現場	グリーン購入に努める	グリーン購入に努める	グリーン購入に努める	グリーン購入に努める
	事務部門	グリーン購入に努める	事務消耗品70%	事務消耗品71%	事務消耗品72%
工事の工期短縮化	建設現場	工期の短縮化	工期前完成	工期前完成	工期前完成
※工事評定中地域貢献	建設現場	—	評価点5.0/5.2	評価点5.0/5.2	評価点 5.0/5.2
河川アダプト継続	建設現場	年2回実施	年2回実施	年2回実施	年2回実施
	事務部門				
重機車両の燃費	建設現場	5.28 k/ℓ	5.33 k/ℓ	5.35 k/ℓ	5.38 k/ℓ
	事務部門	19.5 k/ℓ	19.6 k/ℓ	19.7 k/ℓ	19.8 k/ℓ

※山形県発注工事における工事成績評定中の環境対策を含む地域貢献の項目、満点は5.2点。  
 地域貢献・・・周辺地域の環境保全、生物保護等について具体的な対策をしたと、評価項目がある。

## 5. 令和3年度環境目標値及び実績値

当社全体では 173.981t/CO<sub>2</sub> 排出し、前年度より 58.3t/CO<sub>2</sub> (内55.6は現場により)増加した。  
 東北地方の一般家庭年間排出量は 4.19t/CO<sub>2</sub> (環境省R2参照)  
 約14世帯分増加に相当し、当社全体では 41.5世帯分排出量 がある。



### 事務部門

前年度より2,712kg/CO<sub>2</sub>増加した。その内2,265kg/CO<sub>2</sub>は建築の営業担当が長期の建築現場から戻った事により増加しました。灯油は前年度より少量削減したが、基準年度が暖かかったのか目標までは届かない。LPGはコンロを買替えコロナの影響でお茶出しを中止した為削減したが、手洗いをする回数が増えた事もあり水の使用量が増加した。

	基準年度(平成27年度実績) (H27.4~H28.3)	令和3年度 目標 (R3.4~R4.3)	令和3年度 実績 (R3.4~R4.3)	削減率 ※1	評価 ※2
二酸化炭素排出量	16,551 kg-CO <sub>2</sub>	16,385 kg-CO <sub>2</sub>	17,670 kg-CO <sub>2</sub>	▲7.8%	×
1) 電力	5,781 kg-CO <sub>2</sub>	5,723 kg-CO <sub>2</sub>	5,400 kg-CO <sub>2</sub>	5.60%	◎
2) 灯油	5,981 kg-CO <sub>2</sub>	5,921 kg-CO <sub>2</sub>	8,473 kg-CO <sub>2</sub>	▲43.1%	×
3) LPG	244 kg-CO <sub>2</sub>	241 kg-CO <sub>2</sub>	139 kg-CO <sub>2</sub>	42.3%	◎
4) ガソリン	4,545 kg-CO <sub>2</sub>	4,500 kg-CO <sub>2</sub>	3,658 kg-CO <sub>2</sub>	18.7%	◎
廃棄物排出量					
一般廃棄物再資源化率	—————	76.72 %	73.73 %	▲3%	×
総排水量(水使用量)	135.4 m <sup>3</sup>	134 m <sup>3</sup>	149 m <sup>3</sup>	▲11.2%	×
グリーン購入	グリーン購入に努める	グリーン購入率 70%	グリーン購入率 80%	10.0%	◎
環境保護	河川アダプト実施	河川アダプト実施	河川アダプト実施		◎

※1…削減率の欄において、▲印はマイナス(増加)を示す。

※2…評価:◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→目標とほぼ同じ、×→目標より増加

一般廃棄物については、段ボール、新聞紙、廃コピー用紙、雑誌類など分別し、データ収集をしております。可燃ごみとリサイクルごみの徹底的な分別を心がけ、廃棄物削減に向けた取組を今後も継続して行きます。対象期間内における廃棄物の種類別排出量の実績値は下記のとおりです。

(単位:kg)

廃棄物の種類	排出量	処分	廃棄物の種類	排出量	処分
段ボール類	24	再資源化	新聞紙・雑誌	32	再資源化
廃コピー用紙	50	再資源化	雑紙類	110	再資源化
プラスチック	16	再資源化	ペットボトル	37	再資源化
空き缶	41	再資源化	その他の可燃ごみ	109	焼却処理
空きビン	32	再資源化	その他の不燃ごみ	13	埋立処分
			リサイクル率	73.71%	

## 建設現場部門

仮設電気のメーターを付けれない為、電力は不明です。現場が遠かった事、工事内容によりガソリン・軽油使用量が増加した。

	基準年度(平成27年度実績) (H27.4~H28.3)	令和3年度 目標 (R3.4~R4.3)	令和3年度 実績 (R3.4~R4.3)	削減率 ※1	評価 ※2
二酸化炭素排出量	124,104 kg-CO <sub>2</sub>	122,863 kg-CO <sub>2</sub> (119,386 電力なし)	156,313 kg-CO <sub>2</sub>	▲30.9	×
1) 電力	3,512 kg-CO <sub>2</sub>	3,477 kg-CO <sub>2</sub>	0 kg-CO <sub>2</sub>	—	—
2) 灯油	1,954 kg-CO <sub>2</sub>	1,934 kg-CO <sub>2</sub>	1,041 kg-CO <sub>2</sub>	46.2%	◎
3) LPG	309 kg-CO <sub>2</sub>	306 kg-CO <sub>2</sub>	245 kg-CO <sub>2</sub>	19.9%	◎
4) ガソリン	7,677 kg-CO <sub>2</sub>	7,600 kg-CO <sub>2</sub>	13,379 kg-CO <sub>2</sub>	▲76.0%	×
5) 軽油	110,652 kg-CO <sub>2</sub>	109,546 0kg-CO <sub>2</sub>	141,648 kg-CO <sub>2</sub>	▲29.3%	×
廃棄物排出量					
一般廃棄物再資源化率	—	—	—		
産業廃棄物再資源化率		97.00%	99.49%	2.5%	◎
総排水量(水使用量)	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		
工期短縮					
地域貢献評価		地域貢献 4.5/5.2	地域貢献 3.8/5.2		×
環境保護	河川アダプト実施	河川アダプト2回実施	河川アダプト2回実施		◎

※1…削減率の欄において、▲印はマイナス(増加)を示す。

※2…評価:◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→目標とほぼ同じ、×→目標より増加

地域貢献…“周辺地域の環境保全、生物保護等について具体的な対策をした”と、山形県発注工事における工事成績評定点に評価項目がある。

取組期間中における産業廃棄物の排出実績は下記のとおりで、アスファルト廃材の廃材が多くなっており、これらの大部分は再生利用に回っておりますが、混合廃棄物は焼却や埋立処分され、廃プラスチックも含め更に徹底した分別を行い、リサイクル率を向上させる取組を進めて行くこととします。

廃棄物区分	処理方法	基準年度(平成27年度実績) (H27.4~H28.3)	令和3年度 目標値 (R3.4~R4.3)	令和3年度 実績値 (R3.4~R4.3)
廃プラスチック	再生利用	2		12.9
金属くず(有価物)	再生利用			1.7
コンクリート(有筋)	再生利用	170		33.5
コンクリート(無筋)	再生利用			156.3
アスファルト廃材	再生利用	15		315.1
木くず	再生利用	4		75.6
循環資源合計…A		191		595.1
ガラスくず	最終処分	4		
石膏ボード	最終処分			
混合廃棄物	最終処分	8		1.2
廃棄物合計…B		12		1.2
リサイクル率:A÷(A+B)×100		94.08%	95.96%	99.80%

※リサイクル率とは、全廃棄物量から単純焼却処分量と最終処分量を差し引いた循環資源(再使用+再生利用)の割合を言います。

## 除雪部門

軽油使用料が降雪量によって大きく異なるため、比較が非常に困難であることから、除雪部門は機械ごとに稼働時間1時間当たりの燃料使用量を記録し、前年と比較してエコ操作に努めるよう意識を促しております。

今年度は大雪の影響で目標を達成できませんでした。

なお、建設現場部門での車両の燃料については、工事内容により使用量が左右されるため、1台ごとの燃費を記録しており、今後の取組に活かしたいと考えております。

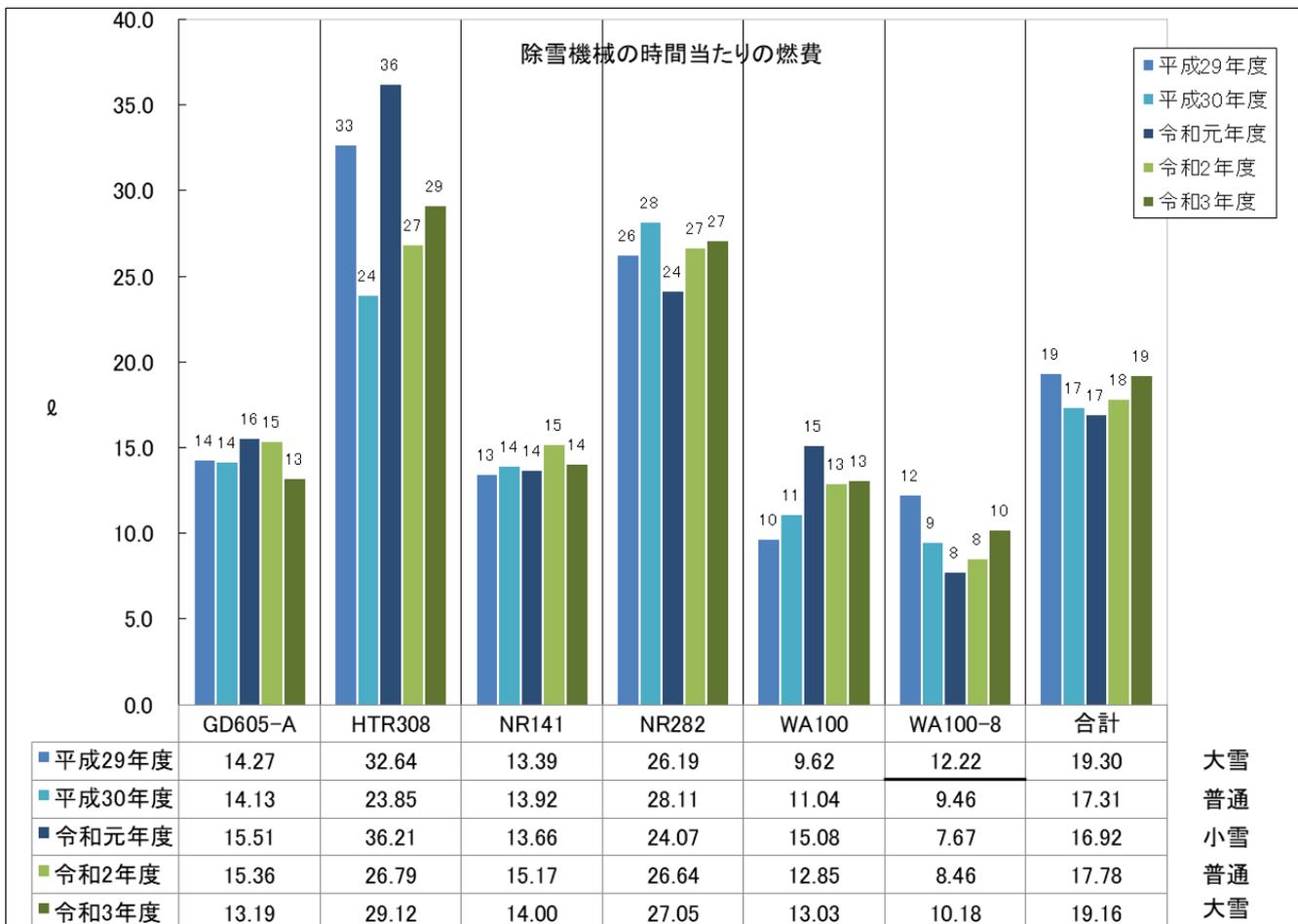
	基準年度(平成27年度実績) (H27.4~H28.3)	令和3年度 目標 (R3.4~R4.3)	令和3年度 実績 (R3.4~R4.3)	削減率 ※1	評価 ※2
☆ 除雪機械の稼働 1時間当たりの燃費	17.64 ℓ/H	17.37 ℓ/H	19.16 ℓ/H	▲10.3%	×

※1…削減率の欄において、▲印はマイナス(増加)を示す。

※2…評価:◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→目標とほぼ同じ、×→目標より増加

(注) 除雪機械の燃費は、実稼働1時間当たりの燃料消費量(ℓ/時間)で表しております。

従って1時間当たりの燃料は少ない程燃費が良い事になります。



————— 新機種の機械を導入

## 6. 環境活動計画と取組結果の評価ならびに次年度の取組内容

## 環境活動計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分(未実施) ー…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	消費電力の削減	・室内温度の適温化(冷房時 28℃ 暖房時 20℃)	○	実際の温度で確認する
		・定期的にエアコン・ヒーターのフィルターの掃除	○	実施日を決め、定期的に
		・不要時の照明及びOA機器のスイッチオフ	○	朝礼等で呼びかけ徹底
		・照明の交換時にはLED等の省エネ製品の購入	○	交換時には必須
		・クールビズ・ウォームビズの実施	○	引き続き取組む
	ガソリン・軽油の使用量の削減	・エコ運転の実施	○	引き続き取組む
		・アイドリングストップの徹底	○	来客にも声掛ける
		・現場への相乗りの実施	○	極力実施する
		・走行距離の効率化	○	極力実施する
	その他の燃料の削減	・ウォームビズの実施	○	引き続き取組む
		・室内温度の調整	○	実際の温度で確認する
		・盛夏の湯沸し器不使用及び無駄な湯沸しはしない	○	引き続き取組む
廃棄物適正管理の削減と	一般廃棄物の削減	・分別ルールの確立と周知徹底	○	朝礼等で呼びかけ徹底
		・コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	△	現場関係の徹底
		・一般廃棄物の排出量の記録	○	引き続き取組む
		・保管場所の管理	○	引き続き取組む
	産業廃棄物の削減	・産業廃棄物の排出量の記録	○	引き続き取組む
		・マニフェスト・契約書類の管理	○	引き続き取組む
・産業廃棄物実施報告書の提出	○	引き続き取組む		
排水量の削減	・手洗い場などへの節水掲示	○	定期的に貼替える	
自主設定項目	・工期短縮に努める	△	随時工程表を確認する	
	・現場等の環境に関する事前調査の実施と対策	○	引き続き実施する	
	・地域貢献に努める	△	社内パトロールする	
グリーン購入	・グリーン購入ネットワーク商品の選定	○	購入率を上げる	
	・車両・機械等設備のグリーン購入	○	取替時検討	
環境保護・配慮	・会社・現場周辺のゴミ拾い・草刈等	○	引き続き取組む	
	・河川アダプトの実施(犬川河川堤防)	○	引き続き取組む	

## 7. 環境関連法規の遵守状況の確認

令和3年6月1日において、下記環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、現場毎、工事着工前に「環境配慮事項」を作成・検討しており、違反状態は認められませんでした。

また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは外部からの苦情についてもありませんでした。

法令・条例・規制	適用内容・規制基準	当社の対応	遵守状況
廃棄物の処理 及び 清掃に関する法律	廃棄物収集・運搬及び処分業者との委託契約	契約書の締結	○
	収集運搬・処分業許可証確認	県知事の許可証	○
	マニフェストの交付義務、記載義務及び虚偽記載の禁止	マニフェストの適正な作成	○
	マニフェストの保管・管理	A票、B2票、D票、E票の保管(5年間)	○
	マニフェスト伝票の交付状況の報告	毎年6月末までに報告	○
	水銀含有製品の処理(蛍光灯等)	廃棄物処理は委託 水銀含む事を明記	○
建設リサイクル法	指定物品のリサイクル化、実績記録の作成・報告・保管義務	アスコン塊、コンクリ塊、木材、発生土等再利用	○
建設業法	建設現場の環境配慮対応	環境問題の未然防止	○
	建設業の許可(区分・更新・基準)	知事への申請	○
フロン排出抑制法	空調設備の点検	エアコンの簡易点検(年4回)	○
グリーン購入法	環境にやさしい商品の購入	環境物品の購入・推進	○
自動車リサイクル法	引取り業者への引渡し	リサイクル料金支払	○
家電リサイクル法	指定家電の適正処分	テレビ、エアコン、冷蔵庫等	○
消防法(危険物の取扱い)	火災の予防	危険物施設、物品の取り扱いと火災予防	○
東置賜行政事務組合火災予防条例	200L以上危険物の貯蔵	消防署長に届出	○
騒音振動規制法	特定建設作業(くい打ち、大型建設機)を伴う施工時	1週間以内の届出	○
水質汚濁防止法	汚濁水排水を防ぐ	漏油事故等の応急処置と届出	○

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 環境活動計画の達成状況と評価

- ・環境目標についてはほぼ目標を達成する事が出来ました。
- ・個々の社員の意識は高くなってきていると思われれます。

### 環境関連法規等の遵守状況

- ・関連法規の遵守状況については問題ありませんでした。

### 問題点の是正及び予防処置の状況

- ・特になし。

### 外部からの苦情・要望・対応状況

- ・特になし。

### 環境経営システムの適切性、妥当性及び有効性

- ・以前より社員1人1人の意識が向上したと思われれます。
- ・各項目に関しては更なる意識向上をはかる必要があります。

### 代表者による見直しの内容(次年度)

- ・環境目標を達成できるよう、細心の注意をはらい、活動を進めていきます。

### 環境経営システム

- ・令和3年度の取組については、責任者、推進委員が中心となって、活発な活動を行った結果、システムは有効に機能しました。

### 環境への取組

- ・数値を見ると確実に効果は表れております。今後もいろいろ工夫をして取組ましよう。

株式会社 藤島建設  
代表取締役社長 藤島 英一

## 9. 環境活動取組状況写真



7月2日

犬川河川草刈・ごみ拾い(年2回)

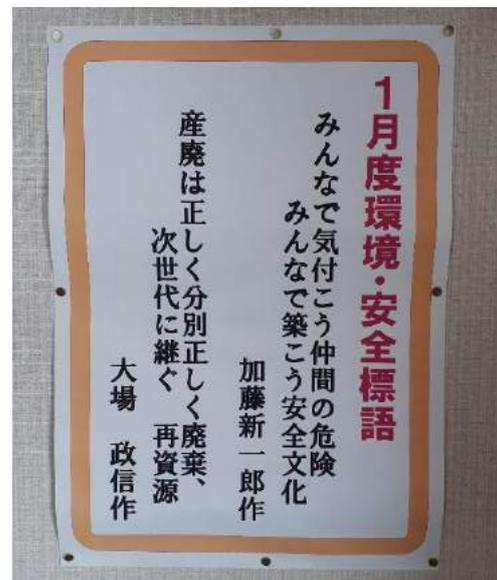
10月1日



標語コンクールを開催し  
月ごとに標語を掲示し意識づけ

### 環境標語コンクール受賞作品

- ・エコ活動 捨てない努力 使う知恵  
高橋 作
- ・再利用 できる事からすぐにでも 始めることでゴミ減少  
前柳 作
- ・子に孫に きれいな地球を バトンリレー  
石栗 作



環境コミュニケーションで、現場での喫煙について意見があり  
喫煙者には携帯用灰皿を一人一人に支給し、灰皿がない所で使用してもらう  
事にしました。忘れた時の貸し出し用も準備し、現場の環境を整えました。